

～ 平成26年度 高田大隅つどいの丘商店街活性化事業 ～

東日本大震災被災地の仮設商店街。かつてのにぎわいを取り戻したいとのニーズに基づいたイベントを住民参加で実施したことから、被災地としてのマイナスイメージが払拭され、活力溢れる商店街であることのアピールに成功している。

所在地：岩手県陸前高田市高田町字大隅93-1
TEL：0192-47-4776 FAX：0192-47-4776
URL：<http://rt-tsudoinooka.com>
組合員数：13名
商店街の類型：近隣型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

東日本大震災の奇跡の一本松で有名な陸前高田市の仮設商店街。震災前から市内で営業していた店舗が中心となって2012年6月にオープン。プレハブ2階建て2棟、平屋建て1棟に日用品や飲食関係の13事業者が入居している。最近道路等が復旧する一方で周辺に大型商業施設が進出する等商業環境は厳しさを増している。本事業では、定期的なイベントを積極的に開催して被災地というマイナスイメージを払拭し、活力溢れる地域であることをPRするとともに、各事業者間における連帯感の向上等を目的とした。



実施した事業の概要

①平成26年度 商店街交流活性化事業

商店街の恒常的な集客力・販売力向上が見込まれる事業として、毎月3回開催する朝市「まぢの日」を中心に、季節ごとのイベントとして「商店街開設2周年企画」、「夕涼み会」等を実施した。2014年5月15日～2015年2月28日までに合計27回開催することができた。

1) 朝市「まぢの日」開催

- ・地元の小規模農家や事業者による朝市を開催
- ・BGMを流し、会場に賑わいを演出
- ・ボランティアによる踊りの披露や地元音楽家による演奏会を実施

2) 商店街開設2周年企画

- ・産直品や地元産品の販売会を開催。
- ・ステージイベントとして氷上太鼓や婦人会による踊りを披露

3) 商店街夕涼み会

- ・子供たち向けに屋台コーナー、スイカ割り、流しそうめん、花火等を実施

4) 中学生による「見て、聞いて、体験して、考える東日本大震災」

- ・商店街事業者による概況説明、質疑応答等を実施

5) 野外音楽イベント TSUDO1-FESTA (6回実施)

- ・ビアガーデン形式の会場で音楽演奏を披露

②平成26年度 被災地間相互交流事業

同じ被災地である岩手・宮城・福島の15ヶ所以上の仮設商店街と各地の特産品を持ち寄った食のイベントを開催。3,000名を超える来場者により熱気に包まれた。

③平成26年度 復興計画勉強会開催事業

商店街の各事業者が、東日本大震災復興商店街間の復興状況・現在の進捗状況、及び行政による最新の復興計画を共有する場を設け、商店街機能の向上を図った。



成果と成功の要因



本事業を通して各種メディアに取上げられたことで県内外に対する商店街の知名度が上がった。また、地域住民参加型の企画を実施することにより、顧客満足度を向上させ、通常の店舗運営以上の集客力が実現できた。

今回の事業が成功した要因としては、商工会や市役所、教育機関との今までにない協力体制を構築し、地域を挙げて様々なイベントに取り組んだことが商店街の賑わいにつながったと考えている。

今後の取り組み

今回の事業の成功を踏まえ、今後とも陸前高田市や商工会等と連携し、商店街の活性化維持のため事業を継続していく予定である。また、今後は当商店街だけの独自の事業としてではなく、中心市街地構想に則った市内事業者間の連携体制構築のため、仮設商店街同士の共同事業も視野に入れて活性化策を検討していく予定である。